



夫木和歌抄

卷之九

八利ノ
1765
9



126

門ノ別4
時 1965
巻 9

丈本和字抄巻第九

夏部三

歌4

六行分トル



夏夜5

五月

紫陽草

夏草

五聖

蚊火

五衣

府

瞿麦

荒瓜

夕白

蓮

菱

友田

夕立

蟬

茅桐

約原

泉

氷室

五鹿

五虫

晚夏

荒和板

三行分トル

建保四年百首并 光明寺合抄

友の心よりすまの心より

千の百首并合

後之秋大合

夏夜の思ひとつと

弘安二年持柄交百首

友の心よりすまの心より

百首并

後之秋大合

友の心よりすまの心より

十歌百首并

後之秋大合



和字抄

なる夜いひつゝしつゝ日なりわの類
くあ二年六月移樹家并合な月

源親房

なるあはれ赤イ花さけり見

ささしつゝ端あはれなる月

後親房

なる海の家と月の清きと水とすみと船の影もれ

後親房

ささしつゝ登月丸

紫陽草 三行分トル

あらしらす

後親房

あらしらす六あらしらす我

紫陽草

あらしらす重あらしらす葉あらしらす影

後親房

あらしらす照あらしらす身

あらしらす紫陽草あらしらす日

あらしらす合

あらしらす合

月

後三條院

まのひらきしるもあけりあまの里のうらたふらふ

兼之四年六月八條入るる由大長家あ合

なまよ

まのひらき

うらたふらふのまのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

けしとねらうらたふらふのまのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

兼三條院

まのひらきあけりあまの里のうらたふらふ

兼三條院

344

殊子内親王歌之合と云々

あまのなを ^{せす}あまのなを ^{やま}あまのな ^{あぢ}

寛治二年百首

前中納言定嗣

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

歌集なるを

後歌なり

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

建保三年あまのな百首

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

あまのなを ^{あぢ}あまのなを ^{あぢ}あまのな ^{あぢ}

後歌なり

おのたつて... **お**

4 牧妻火 **遺** 三行八カトル

百首四十一

長生院日記

下... **お**

月

長生院入る二お歌

... **お**

ふ首一

長生院日記

人... **お**

ふりひの... **お**

長生院日記

長生院日記

け... **お**

正治二年百首

正二位重子

あり... **お**

...

長生院日記

... **お**

建長八年百首

...

い... **お**

長生院日記

... **お**

牧妻火を

長生院日記

牧妻火乃焼けりありくも下れぬじつくもあかり

臨海院内百首 於仲初云師内々

書をいふとけらりくさとの牧妻火ありくもあかりいえたり

百首首 牧妻火ありくもあかりいえたり

又そのてあるやり火のありくもあかりいえたり

文治三年乙丑社百首もり火あ

かりもくひふくもありくもあかりいえたり

又徳六年乙丑社百首もり火あ

東乃々由歌御

えぬりくもありくもあかりいえたり

承和元年乙丑社百首もり火あ

奈良由通の長

あり火乃焼けりありくもあかりいえたり

百首首 奈良由通の長

牧妻火のありくもあかりいえたり

西暦二年百首もり火あ

火のありくもあかりいえたり

三首首 奈良由通の長

すくもあかりいえたり

交文 三行分ル

三百六十首中一

うしん

家集

なほ日のすゝめわづらひもあつたそと夜ぬらひけし

和久四年一百首な夜 後夜約長

な夜ゆりこころのあまればうらまふそと夜ぬらひ

遠保三年うらまふ百首 後三位藤原

な夜ゆりこころをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

和久七年百本八首 常中納言定家

あのをちあつたひるの朝もあつたそと夜ぬらひ

六百首うらまふ夜 八首うらまふ

たればた 植のむしをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

清原約長

あつたそと夜ぬらひをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

久安百首 花園大夫

あつたそと夜ぬらひをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

和久二年四季百首 後三位藤原

あつたそと夜ぬらひをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

光後約長

あつたそと夜ぬらひをわづらひもあつたそと夜ぬらひ

新二五 安み 三行人カト

六百首うらまふ夜 後集板板改

のよあしとまの藤とさうとてくわの藤のつらり
あま *おま* *おま* *おま*

うさうの藤をさうしす藤のさう月と月と藤のさう
おま *おま* *おま* *おま*

おの藤の月と藤とさうとさう藤のさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

おの藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう藤とさう藤とさう藤とさう
おま *おま* *おま* *おま*

藤とさう

藤とさう

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

あつのみを梅すな

徳吉銅良

新古今夏

新古今夏 郭公唱つらんあはれしのゆかりのなほよはりのきりぎりす

歌集

あはれ

三葉のつらつら梅子のあはれあつらんその梅のつらつら

歌集とるそとてあはれ 元真

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

あはれ

あはれ

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

あはれ

あはれ

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

久安百首

皇太子のあはれあつらん梅のつらつら

梅のあはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

寛永四年六月六日東右大臣弁合の

仲實の良

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

千五百首弁合

後鳥羽院のあはれ

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

あはれ

あはれあつらん梅のつらつらあはれあつらん梅のつらつら

延喜式

延喜式

贈太政大臣

延喜式

百首

順徳院

延喜式

延喜式

原親

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

指條

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延喜式

延平家

贈太政大臣

続古神祇

神のしんすいとうき色日らんじん人

百首中

順徳院

カサミのまよりくのつら

天の 久松四年五月八條石

原親光

あな 荷よの月 晴るそみし

天 久松三年五月十一日

赤平合

あふく自由のしんすい

光 久松三年六月

指傳

あふく 神のしんすい

赤平合

あふく 神のしんすい

日

赤平合

あふく 神のしんすい

赤平合

あふく 神のしんすい

あふく 神のしんすい

花の...
花中約云
定家

遠保四年...
光の...
後二位...
御

花の...
花中約云
定家

花の...
花中約云
定家

花の...
花中約云
定家

花の...
花中約云
定家

享和三年八月廿九日 合衆員啓

~~~~~す

ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

脩子親王 合衆員 合衆員 脩子親王

ふねのき いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

永久四年百首 いふ 永久四年百首

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

夏 いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

大 いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

内院指返歌百首五月廿九日 脩子親王

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

藻堂内院供了

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

百首歌

兼書は法師

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

久安百首

兼書は法師 教長

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

天保十年八月廿九日 合衆員

甲勢

あつあつ いふ ちりころのきのみこと いふ ちりころのきのみこと いふ

目録

曰く  
るてし

よきあらず

中務家集

かゝるこの花はそじつなるようふらむしもの心そ

歌集未明後ま

おせし可

花のたわゆる枝されいふまじりの心そ

家集

まじり

るてこの花はよりるまじりの心そ

指中納言俊成の歌命 合盟書到る御歌

源仲正

家集のまじりぬれぬてきるまじりぬれぬ

歌集未明後ま

ゆきよしと有枝の枝をよとぬれぬとぬれぬ

歌中しりて

曰

るていけの葉の下に花はぬれぬぬれぬ

保安二年閏五月拾九日長生寺合盟

内志の長

ゆきよしと有枝の枝をよとぬれぬとぬれぬ

通念志の長

ゆきよしと有枝の枝をよとぬれぬとぬれぬ

天正十年二月芳子女の命合

清原殿女に

585

文殊堂より安そしつるまゝのいふるは久し人か

去来二年六月内忠給信家令合在恩賜書

右家令給

所て下し哀とそぢよそのあやひりやせ尾のいさろ

日

よひす

家かこひひもわたりし徳少しはせまらふの

保深固

膝ひ下る今よきうるれまうしに依人のいひまらう

永く四年四月影浦の家令合らう

右忠給書

まわしるまらふ人かあなうらなうのいふは久し

日

は世に入る国自家法

ようせそあもはせりりうしあまはくまむ

思入る持取百首

氏々内家御

まそあうまそあう川あひまのそらうにうらまそ

あはれ

衣笠の古

こころかこころはう人なまはせしはうさたのやうに

七言介由

指信正の翁

このうらうはうさうつるのそまそとらんかやうに

光若

右家令給

とまのじよの取方より名をあらわすや麻の結ちり

いふは百五十合

ひる見しゆりしあなにのむらじよのまをそん

寛治三年一廿八日

前中納言

あつたむらじよのむらじよのまをそん大和

民部の家御

とるまのむらじよのまをそん

中納言

あつたむらじよのむらじよのまをそん

あつたむらじよのむらじよのまをそん大和

贈紀女帝命

あつたむらじよのむらじよのまをそん

いふ

あつたむらじよのむらじよのまをそん

あつたむらじよのむらじよのまをそん

え癒

あつたむらじよのむらじよのまをそん

三行合

いふ

あつたむらじよのむらじよのまをそん



きれがくくたうはなそしんりあ  
くろこをこ

あしや  
小主人

あしや  
わび作

新藤社百首詩合  
巻三十一

大本  
拾玉

あしや  
あしや

あしや  
巻三十一

新六  
二

あしや  
あしや

あしや  
あしや

あしや  
あしや

新六  
一

あしや  
あしや

大君集

あしや

大君集

あしや  
あしや

あしや  
あしや

三行合

あしや  
あしや

あしや  
あしや

あしや  
あしや

あしや  
あしや

あしや  
あしや

あしや  
あしや





お金山つらきさききゆるるのてむらりなる

隠板百首

うらわしーほりよきあじうきもくくくくくくくく

歌集クメク

後れ物屋

ふらの下しつてんかむせしあふまわりのてん

百首歌

いぬのてん

あきそりすありのそりきんめいりあてまてんてんてん

連<sup>4</sup> 三行カトル

くらす

よき人あし

六六 御歌集 濁江いりふりいりあせよこれ

建久元年六月十日

甚しうあつりのてんあつりあてんあつりあつりあ

長秋上 小舟にし

文治六年一の月百首

まの口もくのみまてんあつりあてんあつりあ

あつりあつりあてんあつりあてんあつりあ

百首歌

西がしん

ふらふら月のあつりあてんあつりあてんあつりあ

め

意気あつり



三條入るる大長

又夏 <sup>玉夏</sup> 浪子 <sup>たみ</sup> 池の <sup>いけ</sup> 有 <sup>はちす</sup> ありき <sup>は</sup> ちゆ <sup>は</sup> 内 <sup>は</sup> の <sup>は</sup> け <sup>は</sup> け <sup>は</sup>

家 <sup>いけ</sup> 池 <sup>はちす</sup> 院 <sup>いけ</sup> 定 <sup>いけ</sup> 事 <sup>いけ</sup> 五 <sup>いけ</sup> 方 <sup>いけ</sup> 附 <sup>いけ</sup> 前 <sup>いけ</sup> 中 <sup>いけ</sup> 初 <sup>いけ</sup> 之 <sup>いけ</sup> 定 <sup>いけ</sup> 事 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

内 <sup>いけ</sup> 池 <sup>はちす</sup> の <sup>いけ</sup> 有 <sup>はちす</sup> り <sup>いけ</sup> 又 <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

遠 <sup>いけ</sup> 久 <sup>いけ</sup> 之 <sup>いけ</sup> 年 <sup>いけ</sup> 六 <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 一 <sup>いけ</sup> 字 <sup>いけ</sup> 百 <sup>いけ</sup> 首 <sup>いけ</sup>

安 <sup>いけ</sup> 家 <sup>いけ</sup> の <sup>いけ</sup> 院 <sup>いけ</sup> 四 <sup>いけ</sup> 条 <sup>いけ</sup>

内 <sup>いけ</sup> 池 <sup>はちす</sup> の <sup>いけ</sup> 有 <sup>はちす</sup> り <sup>いけ</sup> 又 <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

六 <sup>いけ</sup> 拍 <sup>いけ</sup> 歌 <sup>いけ</sup>

伝 <sup>いけ</sup> 之 <sup>いけ</sup> 事 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

新 <sup>いけ</sup> 六 <sup>いけ</sup> 拍 <sup>いけ</sup> 歌 <sup>いけ</sup> 亦 <sup>いけ</sup> や <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

内 <sup>いけ</sup> 池 <sup>はちす</sup> の <sup>いけ</sup> 有 <sup>はちす</sup> り <sup>いけ</sup> 又 <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

大 <sup>いけ</sup> 納 <sup>いけ</sup> 之 <sup>いけ</sup> 事 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

内 <sup>いけ</sup> 池 <sup>はちす</sup> の <sup>いけ</sup> 有 <sup>はちす</sup> り <sup>いけ</sup> 又 <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

指 <sup>いけ</sup> 中 <sup>いけ</sup> 納 <sup>いけ</sup> 之 <sup>いけ</sup> 事 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

日 <sup>いけ</sup> 亦 <sup>いけ</sup> や <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

三 <sup>いけ</sup> 行 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> 十 <sup>いけ</sup> 八 <sup>いけ</sup>

三 <sup>いけ</sup> 行 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> 十 <sup>いけ</sup> 八 <sup>いけ</sup>

日 <sup>いけ</sup> 亦 <sup>いけ</sup> や <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

後 <sup>いけ</sup> 人 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

日 <sup>いけ</sup> 亦 <sup>いけ</sup> や <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

正 <sup>いけ</sup> 治 <sup>いけ</sup> 三 <sup>いけ</sup> 年 <sup>いけ</sup> 百 <sup>いけ</sup> 首 <sup>いけ</sup>

後 <sup>いけ</sup> 人 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

日 <sup>いけ</sup> 亦 <sup>いけ</sup> や <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 月 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup> 今 <sup>いけ</sup> よ <sup>いけ</sup> そ <sup>いけ</sup> わ <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> ち <sup>いけ</sup> け <sup>いけ</sup> と <sup>いけ</sup> 白 <sup>いけ</sup> い <sup>いけ</sup> と

後 <sup>いけ</sup> 人 <sup>いけ</sup> 也 <sup>いけ</sup>

393



月

正三位初女

古今の歌をとり摘まの又月夜一巻をなすや百首

三行八カトル

百首の合

大倉御一 有家

又まのちのこもりけいひをそ新得よあつる院の白玉

月

前中納言定女

風をうたのしきたきくち

正治二年百首の合

後中納言

りるうたをうらもてあふんひらぬのまきのこ

正治四年上院の百首の合

萬葉のしりあけのまきゆりすをゆきあてり金

百首の合

水信俊

あふまてうたをひしあまのふあまのうたをひし

建仁元年とらり又十首の合

前中納言

あつうたをひしあまのふあまのうたをひし

承久二年百首の合

あつうたをひしあまのふあまのうたをひし

建保元年百首の合

くまのうたをひしあまのふあまのうたをひし

毎百箇中

はたします 民の内外の御  
御事ごまじり月とあつりやうのまじりまじりまじりまじり

三箇中

かゝるる所のひらきしんじらんとすまじらうくまじりのま

建仁二年内裏お命 色出ぬお給言

クミのまじりたてりしりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

嘉元三年百箇又三 日

はたか ちかたしちかたしちかたしちかたしちかたしちかたしちかたし

家業よりまじ

法橋御前

おの流りくまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

なす中

法下御前

くまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

お給言

長生御前

おの流りまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

光後御前

くまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

百箇中

法下御前

かゝるるまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

治元二年百箇又三 日

まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

建永八年百首分合 日

ぬのりきとゆりきあもまの里よ... (with various red annotations)

光後約伝

又之のちるは... (with various red annotations)

歌集

中務のみこ

~~清~~ 神のなを... (with various red annotations)

三行分トル

建保三年の百首 後成の女

有京家え

たみかせ... (with various red annotations)

徳とつ身を... (with various red annotations)

歌集略を

後成約伝

女高心... (with various red annotations)

志のつま... (with various red annotations)

秋高のつ... (with various red annotations)

百首... (with various red annotations)

夕の... (with various red annotations)

永仁二年の百首分合

有京家え

木原... (with various red annotations)



川集のたつた

後京極指改

村多のたつたみよのたつた

蕭祖風を採る者哉

くれつりあめくみりみよぬれくろく

家集

西行上人

心里の布面のを

標を野田村

千里

昭輝のくさうくおんやありの野

寛平十一年の附名

この巻のひびき

康平四年十二月の秋

二條名

のひびき

寛平六年六月

のひびき

常盤山本末

承久四年

右京忠房

神うらさく

寛平七年七月

良名法師



たろ切正  
まの権のま毎一は付てこはるもたうゆするま  
けみかま

廿二日  
後直は原

歌花抄  
まの権ひくくまて馬せいのしきやうくはら  
心こころそあぬぬ又附白くわまの権の  
ま

文集百首  
八条院まの会

小倉しうの権の指の指  
あふたち

久安百首  
約号門院安院

女  
まのつこころりこそいふたれとてまよ  
はる  
清なる入る岡白

新島の森に指や  
はふか  
遠也八年百ま合正三位忠定卿

たされの指  
まの森に指  
まの

廿二日  
新大細之記約々

まの権のつら  
はと中野具氏々

まの権のつら  
は九条門下

まの権のつら  
は三位孝治々

六百首  
西三位孝治々

ひまわりをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

大なるまゝ

あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

あぢまをくまの国にきりしやあぢらえよむさくし様の  
あぢ

才三のみこ

西へくうわん積よまひれいじく

あえ四年二月南彦百首

後三佐のまゝ

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

たぐまの海をいひまゝのまゝ

あえ四年二月南彦百首

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

常よまひ積のまゝれいじく

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

常よまひ積のまゝれいじく

あえ四年二月南彦百首

あえ四年二月南彦百首

三文字

拾遺負外

廿四

三行カトル

あえ四年二月南彦百首

あえ四年二月南彦百首

五  
ふりかへりし... 浮舟... へん... あり  
日... あり... あり  
あり

百首百首

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

百首百首

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

十首百首

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

建永八年百首中... あり

ふりかへりし... あり... あり

又永四年百首中... あり

ふりかへりし... あり... あり

建保三年百首... あり

ふりかへりし... あり... あり

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

おのり院日記

ふりかへりし... あり... あり

新後撰夏

いくらし

日

あり

如美神社百首の序  
意法ある  
拾玉  
新古今  
二十名  
新古今  
拾玉  
新古今  
二十名  
新古今  
拾玉

三行入カトル

遠仁元年下合松下悦源  
意法ある  
新古今  
拾玉

六百首の序合辨

来す多しり又凡し  
意法ある  
新古今  
拾玉

ありありの序  
意法ある  
新古今  
拾玉

百首の序  
意法ある  
新古今  
拾玉

百首の序

ありありの序  
意法ある  
新古今  
拾玉

ひいさかひし  
意法ある  
新古今  
拾玉

らそいり行  
意法ある  
新古今  
拾玉

五十四首

兼中納言家

夏の日の光をみればつれいふじろさるひく柳よすむじ川風

建久七年百六八首和歌

夏の日の光をみればつれいふじろさるひく柳よすむじ川風

夏の花の目そくつらつら風をじつさるの光のよきもの

紅糸極振政家侍命合水名涼自秋

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる

あやかしはるるあやかしはるるあやかしはるるあやかしはるる







源仲徳

月夜... 廿一首

永仁元年 廿一首

石の上... 廿一首

嘉元四年 十二月 廿一首

海... 廿一首

建保元年 廿一首

内... 廿一首

文治元年 廿一首

す... 廿一首

建保元年 廿一首

傍正行伝

又... 廿一首

新... 廿一首

野... 廿一首

志... 廿一首

西... 廿一首

内... 廿一首

若... 廿一首

い... 廿一首

408



喜 御女院入及二品親王女中首女中

大イ 隆彦  
中納言

又さへ秋のころをうらむ月をまじりて  
秋の月

百首中泉

後二位親隆

月をまじりて秋のころをうらむ月をまじりて  
秋の月

建長八年百首中泉 佐美の長

まのそとをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

百首中

兼建長師

ふらふのころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

泉内文抽

秋のころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

樹法也秋

源仲正

ふらふのころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

水室 三行分ル

百首中

唯徳院

新統古夏 秋のころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

善徳和尙

ひじろのころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

承元三年秋内文抽

新後撰夏 秋のころをうらむ月をまじりて秋のころをうらむ  
秋の月

又治三年又仕百首の歌の末の歌は又後述

まじりてみよしの松の葉のうらみはなほ

まじりてみよしの松の葉のうらみはなほ

まじりてみよしの松の葉のうらみはなほ

まじりてみよしの松の葉のうらみはなほ

紙園百首

日

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

正治二年百首

日

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

正治二年百首

源師光

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

秋葉のうらみ

後醍醐天皇

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

臨河院の百首

隆聖天皇の御

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

日

中納言の御

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

日

指信の御

秋のしづかにみよしの松の葉のうらみはなほ

日

仲室の御

つひの歌よとてしきりあさつる水おとをくみしい経世たえの

又寛元年十七社 百首外室 氏錦一騎家卿

ころりせし四年一あふ水あをひそけぬたうとてぬめ

と板部四斗 中勢親王

さしつひののみ御りぬれぬ水あをひそけぬ御り

貞應三年百首水室 氏平の力家卿

かみりぬれぬののみあをひそけぬ水あをひそけぬ御り

承元三年整葱百首水室 豊下納言

後三位由良安

この里の水をひそけぬののみあをひそけぬ御り

二七二

正治二年百首水室 西三位季光

まはりののみあをひそけぬ水あをひそけぬ御り

一四四 藤原公成 氏家権振

かみりぬれぬののみあをひそけぬ水あをひそけぬ御り

百首水室 後三位家隆

大和路の水をひそけぬののみあをひそけぬ御り

後三位家隆

よらりの水あをひそけぬののみあをひそけぬ御り

三

けすのの總あをひそけぬののみあをひそけぬ御り

412

三行分かん

かおる門

こころの代りゆめゆめいふさうのひさしをいふ

安永二年の夏百首 安永二年の夏

義らる水家の少つさるさるいふゆめゆめいふ

同イ 同 同 同 同

秋の日のひかりのしづかにいふゆめゆめいふ

水室 後九條門

水月のさるいふさうさるいふさるいふさるいふ

お母 後九條門

新立 今 今 今 今 今

4頁鹿 三行分かん

百首の歌 後九條門

なつらるるのさるさるいふさるいふさるいふ

遠長八年百首合 同

ほららるるのさるさるいふさるいふさるいふ

同 同 同 同 同

あつらるるのさるさるいふさるいふさるいふ

同 同 同 同 同

あつらるるのさるさるいふさるいふさるいふ

あつらるるのさるさるいふさるいふさるいふ

あつらるるのさるさるいふさるいふさるいふ



百首田歌

慈法和尚

おどろち  
かまのまがの草乃落しけり  
おどろち

ひ五百首歌合

後京極権政

歌

我京やこゑをわよぬ  
おどろち

建保三年内大臣家百首  
為家御家百首  
建保三年内大臣家百首

りやの秋よ  
おどろち

建保三年内大臣家百首  
おどろち

なみの  
おどろち

三行人カトル  
おどろち

千の百首歌合

後小倉院

ほととぎす

百首田歌

後小倉院

おどろち  
おどろち

後小倉院

おどろち  
おどろち

おどろち

おどろち

おどろち  
おどろち

おどろち

おどろち  
おどろち

おどろち

おどろち

なつてあつらうをのりしきまよし下終した一しるる

の道より

日

なつてあつらうをのりしきまよし下終した一しるる

4 行かた

二百五十箇中

~~~~~

秋 萩のりしきまよし下終した一しるる

~~~~~

なつてあつらうをのりしきまよし下終した一しるる

~~~~~

西 萩のりしきまよし下終した一しるる

~~~~~

なつてあつらうをのりしきまよし下終した一しるる

~~~~~

なつてあつらうをのりしきまよし下終した一しるる

~~~~~



ぬきとるかし

荒和枝三行分ト

三行分ト

延喜十四年女四宮屏風貫之

すみの江のあさみつ塩にみそきしてこひ忘草くさつみて  
かへん

同十八年東宮御屏風六月枝種したる所

同

この川にはかへて流なぬすことのはは浪のはなにとた  
くふへかなる

歌

天慶二年二月貫之家三の合晩夏

よみ人しらす

むかしより思ふ心はみな月のみそきの神そ空にしる  
ん

屏風に川邊はかへする所あひきえふあひ

能宣朝臣

みそきする川の淵瀬に引あみをおほぬさなりと人や  
みるん

康保三年屏風六月はかへするに

順

なまのうらみかたのむねのあはれいさかハあはれい

徳川院の可成り荒れ他は好む

八百萬

あはれいさかたのむねのあはれいさかハあはれい

月

階原法師

あはれいさかたのむねのあはれいさかハあはれい

月

甚る後

あはれいさかたのむねのあはれいさかハあはれい

歌仲紹良

新撰

あはれいさかたのむねのあはれいさかハあはれい

あはれい

美月の水芭

なまのうらみかたのあはれつとて八家わさるん

徳川院の可<sup>ひ</sup>言<sup>ひ</sup>は<sup>ひ</sup>荒<sup>ひ</sup>物<sup>ひ</sup>仲<sup>ひ</sup>言<sup>ひ</sup>の<sup>ひ</sup>信<sup>ひ</sup>

八百萬

あまのつらみかたのあはれつとて八家わさるん

月

隆源法師

あまのつらみかたのあはれつとて八家わさるん

月

基信

あまのつらみかたのあはれつとて八家わさるん

月

那仲法師

新開宮

あまのつらみかたのあはれつとて八家わさるん

あまのつらみ

美月の水巻

なまのうらなれんていこのあはつこと八家わさるん

徳川院の町司の荒物仲言の長

八百萬

中平の物言はるんはなひらん今もぬきれん

月

隆源法師

ちかやそんあしあつ月のまひ丁あぬい

月

其後

お月のおほいさうらうらうとてんてんてん

歌仲の長

新深窓  
書丸

いあひのさうらうらうのあそび

みそ三度

文月の水巻

終り  
序

らうやうな<sup>年</sup>の<sup>上</sup>の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

澄信の信

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

信親の信

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

新流古夏

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...

の<sup>口</sup>...



はつね歌

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

あつねの川よりの山に花を散らす

百首

百首

あつねの川よりの山に花を散らす









× 被

みまいつくふらこの月るこのよこしつかり  
家集より月づくへくるあし男  
かほ

仔細

六一  
家集

毎日一首中

氏の内歌御

くねしつらあひこもさんか  
ほと  
みまいつくふらこの月るこのよこしつかり  
あか

言伝

日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

又伝十一首毎日一首  
指中  
日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

同五年毎日一首  
日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

同五年毎日一首  
日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

同五年毎日一首  
日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

同五年毎日一首  
日

あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか  
あつしつらあひこもさんか

同五年毎日一首  
日

年毎よるうらのとれそと川あうれてるやうらり  
**すく**

歌集

日

川のしやうと川家一海の家れおとりのとてい  
たきん

百首

安部門院中集

海の家れおとりのとてい  
**すく**  
そやう

百首

後二位家隆

**すく**  
川家一海の家れおとりのとてい  
そやう

天仁二年十一月羽捕の家あ合なり

琳貫法師

**すく**  
川家一海の家れおとりのとてい  
そやう

治暦三年四月定徳約后との合六月定徳

後忠孝子

**すく**  
川家一海の家れおとりのとてい  
そやう

河川院西村百首定徳後約后

とらふあさらとらふとらふとらふとらふとらふ  
**すく**

又治五年百首

前中納言定家

みそとすくとつとらふとらふとらふとらふとらふ  
のせや

日二年百首

日

**すく**  
川家一海の家れおとりのとてい  
そやう

百首  
定家

424

年毎よまらうらのとれそと川あうれてさやうらり新あや

歌集

日

川のひやうとた川あう麻のまねぬさうりさうり

百首

母前門院中集

麻のまねぬさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

百首

後二位歌澄

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

天仁三年十一月歌備中家あ合なり

琳賢法師

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

治暦三年四月定徳院住持の合六月定徳院

後忠孝子

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

院川院の付百首定徳院後院の住持

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

久治五年百首

前中納言定徳院

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

日二年百首

日

口あやはゆもさうりさうりあやと口あやはゆもさうりあやはゆも

百首定徳院の住持

424





426  
△

426

~~日~~ 遠き年百首あ合 ほとけのたて 夏 <sup>あ</sup>

遠き年百首あ合 ほとけのたて

~~日~~ 中絶 <sup>あ</sup>

中絶 <sup>あ</sup>

~~日~~ 西園 <sup>あ</sup>

西園 <sup>あ</sup>

~~日~~ 日 <sup>あ</sup>

日 <sup>あ</sup>

~~日~~ 日 <sup>あ</sup>

日

日 <sup>あ</sup>

夫木和歌抄巻第九 終

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

建武二年百首あ合 後二行あ々

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

西園寺入道あはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

あはれなる心はなほあはれなる心にてあはれなる

夫木和歌抄卷第九 終

426

